

2703G シンポジウム

デジタル技術が変える高等教育の未来

シンポジスト

若山 正人（ZEN 大学 学長）

東京理科大学卒業後、広島大学にて理学博士号を取得。40 年余りの教育・研究・大学運営の中で、九州大学において産業数学の研究所、マス・フォア・インダストリ研究所創設を牽引。NTT の基礎数学研究センター初代統括、理化学研究所数理創造研究センター特別顧問、日本数学検定協会会長を務めるなど、純粋数学の研究にとどまらず応用展開と研究人材育成、数学教育において国内外で幅広い活動を行っている。ZEN 大学初代学長。

上畠 洋佑（新潟大学 教育基盤機構 准教授）

専門は高等教育論。金沢大学国際基幹教育院特任助教、愛媛大学教育・学生支援機構特任助教等を経て、2023 年 1 月より現職。新潟大学・全学分野横断創生プログラム（NICE プログラム）と未来教育推進コア事業の文部科学省への申請業務を担当し、現在分野横断教育ユニット長としてその運営を担っている。主要な著書に、『知識集約型社会における新潟大学の挑戦—メジャー・マイナー制の戦略的全学展開』、『コロナ禍で学生はどう学んでいたのか～質的研究によって明らかになった実態』がある。

鈴木 洋（芝浦工業大学 情報イノベーション部 部長）

1991 年より芝浦工業大学に勤務。情報部門から 2014 年に教育イノベーション推進センター事務課に異動し、FD・SD 支援、IR、教学マネジメント、学生支援等に携わる。2023 年 4 月より現職。大学行政管理学会(JUAM)事務局長補佐（情報システム担当）、SD コーディネーター。

コメンテーター

中井 俊樹（愛媛大学 教育・学生支援機構 教授）

専門は高等教育論および人材育成論。1998 年に名古屋大学高等教育研究センター助手、同准教授などを経て 2015 年より現職。学長特別補佐、教育・学生支援機構副機構長、教育企画室長、学習支援コモンズ長、教職員能力開発拠点代表者を担当。愛媛大学の教育の質向上に向けた FD、SD、IR を始めとした諸活動の企画、実施、評価に加え、教職員能力開発拠点の活動として他機関における研修や組織開発支援を行う。大学教育、大学教員、大学の管理運営、看護教育などのテーマの書籍多数。

司会

上月 翔太（愛媛大学 教育・学生支援機構 准教授）

プログラム概要

高等教育を取り巻く環境は大きく変化しています。2025 年の「知の総和」答申では、「教育研究の質の更なる高度化」に加え、「高等教育全体の規模の適正化」や「高等教育へのアクセス確保」が求められています。高等教育や自組織の望ましい未来像を描き、その実現に向けて個人や組織の力を高めることがますます重要になっています。

本シンポジウムでは、先鋭的・特徴的な実践の共有と未来予測を通じて、参加者が未来の高等教育の姿を思い描く機会としたいと考えます。特に、フォーラム全体のテーマに関連して、デジタル技術がもたらすキャンパス、教育実践、教職員の働き方の変化について議論します。

まず、各シンポジストに「現在取り組んでいること」「25年後の高等教育の姿」「その未来に向けて大学教職員が高めるべき力や取り組むべきこと」の3つについてお話しいただきます。その後、コメンテーターや参加者との対話を通じて、「未来の高等教育はいかにあるべきか」をそれぞれが考え、望ましい未来像を形成することを目指します。テクノロジーとの関係を手がかりに、未来の高等教育のあり方を多面的に考えていきたいと思います。

事 前 アンケート

「高等教育の未来予測」について

本シンポジウムに先立って、ご参加の方々にも「未来の高等教育」の予測をしていただきたいと考えます。事前にご案内するフォームよりご協力いただければと存じます。参加者による未来予測についてはシンポジウムでその一部をご紹介しますとともに、初日ポスターセッションでも発表予定です。ご協力の程、よろしくお願いいたします。